

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は2022年度(財)日本陸上競技連盟規則および本大会要項・競技注意事項によって実施する。

2. 感染症対策

- (1) 参加選手・チームは、体調チェックシートを受付に提出すること。[19(金)・20(土)・21(日)]
- (2) 競技中、ウォームアップ中以外は、極力マスクを着用のこと。(熱中症注意)
- (3) 手洗い・手指消毒を励行すること。(チームでもご準備ください)
- (4) 集団での応援、声を出しての応援は禁止する。(手・手拍子での応援をお願いします。)
- (5) ライブ配信を実施する(三重陸協HPをご確認ください。)
- (6) 一般観戦の方は、入り口にてスマートフォンで QR コードを読み取り、登録してください。スマートフォンでの対応ができない方は、受付にて登録票にて登録願います(登録済みリストバンドを着用していただきます。)

3. 招集について

- (1) 招集所は、メイン競技場・第1ゲート(ゴール側ゲート)外側に設ける。
- (2) 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、競技用靴・アスリートビブス・ユニフォーム商標等の点検を行う。
- (3) 携帯電話等、(TR6.3.2)に関わる機器は競技場内に持ち込むことはできない。
- (4) 競技用靴については、競技規則(TR5.2)の通りとする。
ただし、小学生については、2020年度に改定し更新されているシューズ規程に関するルール(TR5)の適用外とする。
- (5) 招集後は、係員の誘導に従い入場する。
- (6) 招集は、本人が行い、代理人による招集は認めない。但し、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ競技者係(招集所)に申し出ること。
- (7) 招集完了時刻に遅れた競技者(チーム)は、出場できない。

【招集時間】

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	全ての種目	30 分前	20 分前
フィールド競技	種目により、招集開始時刻、完了時刻が変わるので、競技時間表を確認のこと。		
小学生コンパインド	走高跳・走幅跳・ジャベリックボール	50 分前	40 分前

4. 競技について

- (1) トラック競技
 - ① スターターの合図は英語とする。(小学生も同様とする)
 - ② 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
 - ③ 男子5000mWはスタート後30分、女子5000mWはスタート後35分でレースを打ち切ることがある。
- (2) フィールド競技
 - ① フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員への指示に従うこと。
 - ② 跳躍・投てき(やり投)競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。
 - ③ 三段跳の踏切板は、男子13m・女子10mで行う。
 - ④ 棒高跳の競技者は、自分が希望するバーの位置を競技が始まる前に担当審判員に申し出ること。
その後バーの位置を変更したい場合も、担当審判員に申し出ること。
 - ⑤ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りである。
(ただし、天候等の状況により審判長の判断で変更することがある。)

	練習 A	練習 B	練習 C	1	2	3	4	5	6	7	
女子走高跳	1m45	1m65		1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	1m71	1m74	以後 3cm
男子走高跳	1m80	2m00		1m85	1m90	1m95	2m00	2m05	2m10	2m13	以後 3cm
女子棒高跳	2m40	3m00	3m40	2m50	2m70	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	以後 10cm
男子棒高跳	4m20	4m70	5m00	4m30	4m50	4m70	4m80	4m90	5m00	5m10	以後 10cm

※練習は A,B のいずれか希望する高さで行なう。

※第1位決定のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

- (3) リレー競技

- ① リレー競技に出場するチームは、各ラウンドにおいて「リレーオーダー用紙」を招集完了時刻の60分前までに招集所へ提出すること。(オーダー用紙は招集所・TICにも用意する。)
- ② マーカーは主催者の用意するものを使用すること。

(4) 小学生大会特別規則

- ① 小学生のスタートについて
 - ・同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。
 - ・スタートの方法は、クラウンチングスタートを用いる。スターティングブロックは使用しなくても良い。
- ② 本大会におけるコンバインド競技は以下の順とする。また、**2種目目の前には改めて招集を受けること。**
- ③ コンバインドA: ①走高跳、 ②80mハードル
- ④ コンバインドB: ①ジャベリックボール投 ②走幅跳
- ⑤ 各種目の得点は『JAAF小学生コンバインド種目得点表(2022年度改訂版)』による。得点は男女共通とする。
- ⑥ 80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。
- ⑦ スタートまたは試技を行い、途中棄権(DNF)、記録無し(NM)、失格(DG)および参考記録(80mハードルにおいて不正スタートとなりオープン参加時の記録)の場合、得点は0点とする。
- ⑧ 1種目目に出場し、途中棄権(DNF)、記録無し(NM)、失格(DG)、参考記録の場合、2種目目の出場は可能とする。
- ⑨ 1種目目で欠場した(スタートまたは試技を行わない)競技者は、2種目目には出場できない。
- ⑩ 1種目目または2種目目のいずれか、または両方において、途中棄権(DNF)、記録無し(NM)、失格(DG)、参考記録の場合、2種目の合計得点は、コンバインド得点として認められる。
- ⑪ 2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とする。
- ⑫ 80mハードルは、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからフィニッシュまで11mとする。
- ⑬ 小学生の走高跳、走幅跳、ジャベリックボール投の練習は、主競技場内で実施する。補助競技場および競技場周辺での練習は禁止する。
- ⑭ 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。また、自分が申告した高さから試技を開始し、2回続けて失敗した時点で終了とする。
走高跳のバーの上げ方(天候により変更有)
(練習:AB選択) (開始)
A 0m90 B 1m10 0m95 1m00 1m05 1m10 1m15 1m20 (以降も5cmきざみとする)
- ⑮ コンバインドBの走幅跳、ジャベリックボール投は全員2回の試技とする。
- ⑯ ジャベリックボール投の助走距離は15m以内とする。
- ⑰ ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。羽だけを持って投げることは禁止する。ジャベボールを使用する。
- ⑱ リレー競技(男女混合4x100mR)は、男女各2名から編成され、走順は自由とする。
(補欠についても男女各1名ずつとする)
- ⑲ リレー競技のエントリー者のうち、リレー競技に出場しない選手は友好レース(100m)に出場できる。
また、当日、感染症等でチームが棄権となった場合、残りの選手は友好レースに出場できることとする。**9時30分までに出場者を書面にてTICへ提出のこと。なお、友好男女100mに出場した選手はリレー決勝には出場できない。**

5. ビデオ監視システムについて

- (1) ビデオ監視システムにより、判定を行うことがある。

6. アスリートビブスについて

- (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。跳躍競技は胸または背につけるだけでもよい。
- (2) 写真判定用の「腰ナンバーカード」はランニングパンツの左右横やや後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつける。リレー競技は第4走者がつけること。
※(4×400リレーの1~3走者は、右腰に腰ナンバーカードを付けること)
※(5000m 5000mwについては、専用の胸・背ビブスを貸与するので、着用のこと。ゴール後返却のこと)
※(小学生は、専用の色テープを着用(直線競技)するので、出発前に係員の指示に従うこと。)

7. 競技場への入退場について

- (1) 入場は、全て招集所より係員の誘導により行う。

- (2) 退場は、下記による。
 - ・トラック競技(直線競技)は、フィニッシュ地点の第1ゲートよりメインスタンド外側通路を通り退場のこと。
 - ・周回競技はトラック外側または、ダッグアウト通路を通り、スタート地点へ戻ること。※ただし決勝において1～3位の入賞者は、係員によって表彰控え席に誘導する。また、フィールド競技の1～3位は競技役員の誘導により表彰控え席に誘導する。

8. レーン順・試技順について

- (1) トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (2) 決勝の組み合わせ及びレーンは、大型映像・アナウンス・三重陸協HPで知らせる。(メインスタンドコンコース掲示板は、密集回避対策のため設置しません。)

9. トラック競技の次のラウンド進出の決定について

- (1) タイム、着順により次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足する時の処置は、抽選により決定する。(TR21)

10. 抗議について

- (1) 競技に関する抗議は、競技規則(TR8)により、本人または監督から TIC を通じて審判長に対して口頭で申し出ること。
- (2) 審判長の裁定に不服な場合は、 Jury に預託金 10,000 円を添えて文書で上訴すること。この預託金は、上訴が却下された場合は、返却しない。「上訴申立書」は担当総務員席に準備する。

11. 助力について(TR6)

- (1) 競技者は、勝手に競技場所を離れてはならない。
- (2) 競技場内での競技者への助言は、決められた場所(コーチ席)で行うこと。

12. 撮影について

- (1) スマートフォン・タブレットでの撮影は可。望遠付きカメラ、ビデオカメラでの撮影は不可。
- (2) 撮影禁止エリアが設定されているので、厳守のこと。プログラムで確認。
※著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、速やかに警察に連絡いたします。

13. 競技用具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。
ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のもので使用できる。ポールについては競技開始前に跳躍審判員の検査を受け、許可されたものでなければならない。
- (2) やり・円盤については、個人所有のものも認めるが、競技開始1時間30分前～1時間前の間に検査を受け、一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとする。(TICまで持参のこと。返却もTICで行う)

14. 表彰について

- (1) 各種目1位～3位には、賞状と賞品、4位～8位には賞状を授与する。
(リレーチームの賞状は各チーム4枚とする。補欠メンバー分は申し出があれば用意する。)
- (2) 表彰式は1～3位入賞者に対して行なうので競技終了後、競技役員の誘導で表彰控え席(正面エントランス)に集合のこと。(リレーは、密を避けるため、各チーム代表1名で行う。)
- (3) 4～8位入賞者は成績発表後、賞状を正面玄関横まで各自受け取りに来ること。
- (4) 小学生友好100mは、表彰および、賞状の対象外とする。

15. 競技場の使用について

- (1) 開門時間は午前7時である。それ以前には立ち入らないこと。(警報器が作動します)
- (2) メインスタンド1階の入場はADカード着用者のみとする。
- (3) タープテント等の簡易テントの使用は、芝生スタンドのみとする。
- (4) メインスタンド通路より下へチームベンチを設置することを禁止する。
- (5) 横断幕は芝生スタンド上部、バックスタンドのみ可能とする。(最前列は禁止)
- (6) 競技場、観覧席とも汚さないように気をつけ、使用した者で清掃し、ゴミは各自で責任をもって持ち帰ること。
- (7) 更衣室は、TICで使用許可書を申請し使用のこと。
- (8) 選手の移動は、本競技場内を通らず、競技場外周を使用すること。

- (9) メインスタンド2階コンコースへのベンチ設置は、競技場の許可箇所のみとする。
防水塗装保護のため、ブロック(石等も含む)、粘着テープ等の使用を厳禁する。

16. 練習場の使用について

- (1) 補助競技場の使用は次の注意を守り競技役員の指示に従うこと。
- ① ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
 - ② 内側の1・2レーンは、長距離のペース走専用とする。
 - ③ 内側の3～6レーンは、流し等の専用とする。
 - ④ 外側の7・8レーンはハードル専用とする。
 - ⑤ 跳躍種目の練習は所定のピットで行う。
 - ⑥ 投てき種目の練習は禁止する。
 - ⑦ 走路及びピットに立ち止まっての指導等を禁止する。
 - ⑧ 走路は左回りとし、逆走は厳禁とする。
 - ⑨ 直走路の横断は事故防止の為、禁止する。(曲走路より注意して横断のこと。)
 - ⑩ 補助競技場内でのチームベンチの設置は禁止する。
 - ⑪ その他、競技役員の指示に従うこと。
- (2) 投てき場での練習は不可。
- (3) 雨天練習場の使用は下記の注意を守り、競技役員の指示に従うこと。
- ① スタンド側の1レーンは、流し専用とする。
 - ② 内側の2レーンは、高速専用とする。
 - ③ 多目的グラウンド側はjog専用とする。
 - ④ 事故防止の為、スターティングブロックの設置は禁止する。
 - ⑤ 走路の横断は禁止する。スタンド及び補助競技場への移動は、走路に沿って移動し、第2ゲートおよび第3ゲート付近から通行をすること。
 - ⑥ 全天候舗装部分をチームのベンチにすることを禁止する。



17. 体育館の利用について

- (1) ○下記の日程で、陸上競技場横の体育館を、休憩所として利用できます。
- ・1日目(8月20日)メイン体育館が利用可。(午前7時開場)
 - ・2日目(8月21日)は使用不可。

18. 練習について

- (1) 「16. 練習場の使用について」にもとづき練習ができる。
- (2) 主競技場での練習可能時間は次のとおりとする。
- 19日(金) 13時00分～17時00分
補助競技場は小学生専用とします
- 20日(土) 7時45分～9時00分(トラックのみ) ※小学生の主競技場での練習は禁止する。
- 21日(日) 7時45分～9時00分(トラックのみ)
- 投てき練習は競技前に行なうので、主競技場・補助競技場及び周辺での練習は禁止します。

20. その他

- (1) 氏名・所属・フリガナ等の間違い。訂正があれば、受付・プログラム受領後、TICに申し出ること。
- (2) 貴重品類は各自で保管すること。万一の事故があっても責任は負わない。
- (3) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室(メインスタンド下)において処置を受けること。応急処置後は、責任をもたない。
- (4) 競技場に商品名のついた衣類、バックを持ち込む場合は以下の規定を守ること。
 - ① 上半身の衣類・・・面積30cm²以内、文字は縦4cm以内、ロゴ全体はでは5cm以内とする。
表示は1ヶ所とする。
ワンピースの場合・・・ウエストより上部、下部で1か所づつ表示できるが隣接してはならない
(文字の高さ3cm以内・ロゴの高さは4cm以内、面積は30cm²以内の長方形)
 - ② 下半身の衣類・・・面積20cm²以内、文字は縦4cm以内(ロゴを含む)のもの1ヶ所とする。
 - ③ バック・・・面積25cm²以内で2ヶ所(同一のものでなければならない)
 - ④ 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。
- (5) 棒高跳用ポールの返送希望者は競技場事務所受付にて手続きをすること。両日とも16時まで受付ける。
- (6) 参加申込書に記載の個人情報は、参加受付・プログラム作成等の本大会の運営、成績の報道発表及び ホームページに使用します。又、大会出場中における映像・写真・記録等への記載権は主催者に属します。
- (7) 自家用車の駐車については、西駐車場および多目的グラウンドを利用のこと。満車の場合、河川敷駐車場(有料)を利用してください。路上駐車は厳禁。(バスは、係員の指示に従って西駐車場に駐車してください。)